

## 国内データセンター延床面積予測を発表

Japan, 2020年4月7日 - IT専門調査会社 IDC Japan 株式会社 (所在地: 東京都千代田区九段北1-13-5、代表取締役社長: 竹内正人、Tel代表: 03-3556-4760) は、国内事業者データセンター (DC) の延床面積予測を発表しました。これは、ITベンダー、ITサービス事業者、通信事業者、クラウドサービス事業者などが国内に所有または賃借しているデータセンター建物の延床面積合計を調査したものです。それによると2019年末時点の国内事業者データセンター延床面積の合計は、225万400平方メートルであり、2024年には281万7,000平方メートルに増加すると、IDCでは予測しています。これを年間平均成長率 (2019年~2024年) に換算すると、年4.6%で増加することになります。

今回の調査では、2020年から2024年までの期間が、事業者データセンターの新設ラッシュになる見込みであることもわかりました。この期間に新設される事業者データセンターは、延床面積ベースで毎年10万平方メートルを超える見込みです。AWS、マイクロソフト、グーグルなどのクラウドサービス事業者が国内のデータセンターキャパシティを急ピッチで拡張していることを受けて、大規模データセンターの建設ブームが続いているためです。

クラウドサービス拠点としてのメガデータセンター建設需要は高水準で推移すると見られます。このため、データセンターのなかでも超大規模データセンター (サーバー室面積5,000平方メートル以上) の年間平均成長率 (2019年~2024年) は、延床面積ベースで11.3%になるとIDCでは予測しています。また超大規模データセンターでは消費電力も増加するため、電力キャパシティベースでの年間平均成長率は面積ベースよりも高い17.5%になると見られます。

クラウド向けハイパースケールDCの新設が相次ぐ一方で、非クラウド型DCビジネス (従来型のホスティングやシステム運用アウトソーシングなど) の成長が鈍化しています。「非クラウド型DCの運用モデルやファシリティ要件を見直

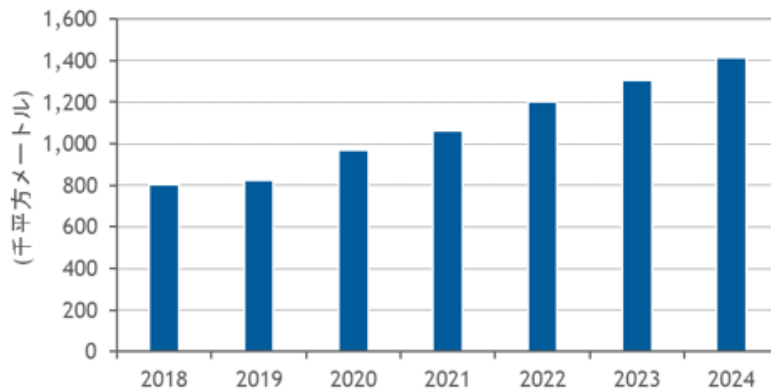
すことが急務である」とIDC Japan ITサービスのリサーチマネージャーである伊藤 未明 は分析しています。

今回の発表はIDCが発行した国内データセンター数 / 延床面積 / 電力キャパシティ予測、2020年～2024年にその詳細が報告されています。本レポートでは、事業者DCだけでなく、企業内DCについても、サイト数、延床面積、電力キャパシティの予測を、所在地別、竣工年代別、電力密度別に掲載しています。

< 参考資料 >

超大規模データセンター 延床面積  
予測： 2018年～2024年

Figure 1



Note: 2019年は実績値、2020年以降は予測。「超大規模データセンター」とはサーバー室面積5,000平方メートル以上の事業者データセンターのこと。

Source: IDC Japan, 4/2020

IDC is a subsidiary of IDG, the world's leading technology media, research, and events company. Additional information can be found at [www.idc.com](http://www.idc.com). All product and company names may be trademarks or registered trademarks of their respective holders.

For more information contact:

jp-Press Japan  
jp-press@idcjapan.co.jp  
+81-3-3556-4768